

薙モキャンパス

大同工業大学
〒457 名古屋市南区大同町2-21
TEL (052) 612-6111(代)
編集 大同工業大学
企画 広報室

主な記事

アーヘン工科大学学長ほかトップ来学	1面
留学生座談会	2面
就職・就職体験記	3面
研究室訪問	3面
父母のみなさまへ	4面
公開講座開催	4面
掲示	6面
国庫など補助金の交付状況	6面
人事関係	6面
学術	5面
人物往来	5面

学術交流・科学協力をめざして アーヘン工科大学学長ほかトップ陣来学



熱心に検討された協定内容 「交換学生」に多くの合意と前進

藤原達雄学長
謝辞

大同工業大学へようこそ
いらっしやいました。わたし
どもは皆様をお迎えすること
ができて大変光栄に存じます。
前副学長カーナー教授の「技
術と社会」その調和を求めて
」の御講演では、今後の技
術者育成にとって不可欠な視
点を反省する機会を与えてい

いただきました。また、今回の
本学へのご訪問にあたって、
実り多い懇談の時間をもちけ
ることができましたことは、
私の喜びにたえません。
さて、両学との技術提携書
に盛り込まれております。年一
回のトップ会議も、こうしてつ

つがなご実現され、御滞在中
には提携書にもとづいた具体
的な相互交流も促進を見るこ
とができ、こうしたひとつつ
つの努力が今後の学術交流
の万全の礎となり、両大学に
ついていずればならぬ成果
として結実することを祈念し



カーナー前副学長講演会

技術と社会—調和を求めて



アーヘン工科大学前副学長
カーナー教授
講演要旨

今後に向けて技術と社会がどうあるべきな
のか、それを「はじめに」「主題」「結論」の
3つのパートから論議。
まず「はじめに」では「技術開発とその社
会的、経済的影響について」。
次に「主題」では、テクノロジーアッセ
メントという分野の研究課題とその目的につ
いて、①どのように問題を捉えるか
②問題をどう解決していくか
③研究成果をどう評価するか
という三点から必要な知識を提供し、また評
価するかを述べられ、この分野の真摯な努力
がなぜそうまで早急に求められるかを言及さ
れた。
さらに、テクノロジーアッセメントに今後
要求される条件とは何か。そして、最後に「結
論」へと導かれた。

初回の交換学生 十一月二十日に来学

九月のトップ会議を経て、
最初の交換学生が十一月二十
日に来学しました。アーヘン
工科大学大学院生ヨーク・ウ
エーベルさん(二十七才)。
修士論文を完成するため六
か月間、本学にて研究生とし
て勉強。機械工学科 葛原教
授、野村助教のもとで「工
場管理に関する研究」に着手

言葉とは、不思議な物であ
る。言葉には背景があり、こ
の背景が異なる、まったく
異なる意味が発生する事もあ
る。また、聞く人の心の状態
によっても様々に変化する。
学生諸君やパワースト助教と
の会話の中で、言葉の大切さ
を再認識すると共に、心の中
に残る何かを感じた。

両大学の努力が日独兩國のかけ橋に

「我々が今やっていること
は、日独兩國の間に橋を掛け
る活動内容などの詳細につ
いて、両大学のトップの会議が
二十七日午前より開催されま
した。
なかでも同校の「学生交換
に関する協定」について熱心
に検討がなされました。

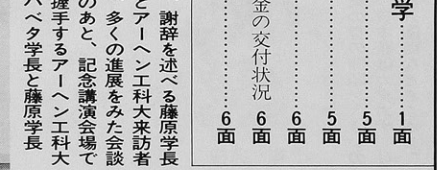
両大学の努力が日独兩國のかけ橋に

「いま現在、取り組まな
ければならない問題は、一学科
一学問だけで取り組む問題で
はなく、いろんな影響分野に
またがった観点から捉え、
またなければならない問題で
す。当然のことながら関連する色
々な学問分野が理論的にも方
なしてはじめています。」
最終の行事は二十七日夕
滞滞の日が重なるにつれ、
親睦も深まった両学の関係者
は、別れを惜みつつ、名古屋
ヒルトンホテルでの歓迎パ
ーティに参集し、両国と両大
の深い交流を期して有終の
美を飾りました。

充実したスケジュール

このように実りあるトップ
会議や記念講演のほか、一行
七名は、大成建設株や大同
特殊鋼株など企業訪問され
工場見学を通して日本企業に
おける技術のあり方を視察さ
れていきます。
なお、大同特殊鋼主催の歓
迎パーティーにも出席になり、
日本とドイツの科学技術や文
化について、なごやかな会談
を通して両国の和がひろがり
ました。

下、謝辞を述べる藤原学長 とアーヘン工科大学来訪者



右、多くの進展をみた会議
のあと、記念講演会場で
握手するアーヘン工科大
ハベタ学長と藤原学長

「目まぐるしい科学技術の
成果や世界的規模でのいろ
ろな機械の浸透、はなはだ直
観的なモダン・テクノロジー
と地球規模の問題との関わり
、こうしたことから多くの人々
が科学技術の進歩に非常に敏
感になって神経をとがらせて
います。」
科学技術イノベーション
が、いまは単に個人の生活を
豊かにしているというのと
豊かにしているばかりでなく、む
しろ緊張(精神的不安、過労
)とリスクを伴うものとな
りつつあります。

法的にも共同して作業してい くということが必要になっ てきます。

原則としては、厳密な評価
基準というものを誰でも分か
るよう理理的、合理的に作
成していかなければなりません。
これがテクノロジーアッセ
メントに課せられている条
件だと言っていると思います。」
このように、氏の講演から
は、藤原学長の謝辞の言葉の
なかにもあるように、「今後の
技術者育成に不可欠な視点」
を与えられました。
今回の本学来訪の主たる行
事は、つがなご多くの進展
のうちに終了に近づいていき
ました。

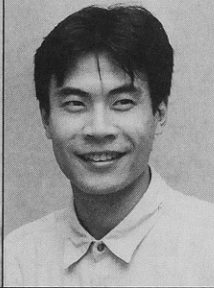
春夏秋冬

夏休み前のA・Aセミナー
で、ホームメイドアイスクリ
ームを学生と作ってみた。作
り方は、すべて英語で書かれ
ている。日頃、英語講義をい
やがる学生諸君も食べる楽し
みの為か、実に良い和訳をし
てくれた。ところが、その文
章の中にどう探しても意味不
明の単語が存在していた。ラ
イバン(ipan)である。この
言葉は、おいしいアイスクリ
ームを食べるための重要な単
語らしい。学生と私は、大き
な辞書を利用して調べてみた。
「熟した」という意味であつた。
要するに、作った物をしばらく
待つことが重要な時期
を待つことが食へ頃になる時期
学生達は、自分で作ったアイ
スクリームを、冷凍庫にて二
三時間ねかせ、ライバンの
風味を味わっていた。
最近の社会は、機能的にも
構造的にも急速に発展したた
め、熟する時期まで待たなく
次の段階に進んでしまうよう
である。何事においても、待つ
事は大切である。待つ事によ
つてもその持味を十分に生
かすことも出来るし、時間の
余裕も生まれるとして変更の余
地さえ生じてくる。

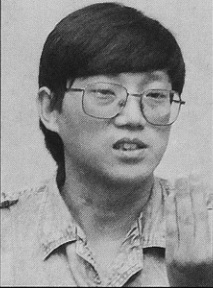
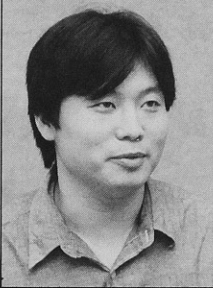
留学生座談会

アカデミックな工学研究を通じて国際交流をめざす本学は、すでに多くの外国人留学生を受け入れていますが、なかでも中国人留学生は現在18名が学んでおり、日本語にも随分慣れてきて

た折から、座談会を企画しました。本学からは学生部長、同課長、国際交流委員長が出席、留学生の悲喜こももが語られました。司会者は企画広報室長。



許立新 (中国)
91年4月入学、工学部機械工学科1年次生
90年4月入学、工学部機械工学科1年次生



父母のみなさまへ

地方懇談会 報告



大学とご父母との交流を図るために後援会会員相互の親睦を深めるための地方懇談会を、本年も全国各地で開催し多くの父母の方々にご参加をいただきました。

表のように全国一〇地区の十一会場で開催し、合計三百四十一名のご参加をいただきました。

これに六月の総会の際にもご父母との個人面談を実施しておりますので、その時参加者を含めた実質の合計

平成3年度 地方懇談会実施結果

地区	月日	会場	参加者数	会員数
愛知	7/7(日)	ホリデイ・イン豊橋	73	1645
中国	7/13(土)	岡山ターミナルホテル	23	59
静岡	7/14(日)	日興会館(静岡)	58	211
四国	7/14(日)	国際ホテル高知	12	53
三重	7/20(土)	津都ホテル	19	199
岐阜	7/21(日)	岐阜キャスルホテル	78	336
北陸	7/21(日)	金沢都ホテル	21	80
長野	7/21(日)	松本東急イン	17	39
近畿	7/27(土)	神戸ポートピアホテル	21	227
	7/28(日)	ホテルサンルート彦根	17	
九州	7/28(日)	城山観光ホテル(鹿児島)	2	11

楽しくも実りあるひととき もっと早く参加すればよかった



後援会長 就任挨拶



後援会長 盛田 國四郎

参加者は四百二十名となり、これは在学生全ご父母の十五の弱の方がご参加になっていることになりました。

懇談会では、後援会及び大学代表者からの挨拶に続いて、教務関係学生生活・就職指導状況等について、大学役職者が

梅雨の合間となった六月十六日に、大学図書館四階の大会議室で後援会の本年度の総会が開催されました。その席上において、佐佐木会長の後任を仰せつかった次第であります。力不十分とは思いますが、会員の皆様方、大学の先生、職員の方々のご支援ご協力を

先生方とご父母がくつと近づき、くつと近づいてほしい、また新しい知人を得た方も多く、中にはゴルフの約束などしている方もいたようです。

どの懇談会の会場でも必ず出たのは「初めて参加したけれど、こんなにも有意義でもっと早く参加すればよかった」という声です。ご参加されたご父母の多くは、「この会がごんごんのかを知らないのだと思う」という声でした。四年生の父母の方々が「もう卒業してしまうのだ

いた、副会長の亀甲氏、澤井氏(新任)の両氏共々、会の運営に最善を尽くしたいと思っております。よろしくお願ひします。

後援会は「学生の教養の向上と幸福の増進を図り、会員相互の親睦を深めるとともに大学の発展につくす」ことを

目的としております。歴代の役員・会員の皆様は、その目的に沿ってすばらしい事業を展開してこられました。近いところでは、図書館建設への協力、学生の海外短期留学への援助等に努めてこられました。毎年七月に全国的に展開している地方懇談会は、大学とご父母との交流に貢献する

今年も第9回大同工業大学公開講座が開催されました。昨年も好評だった硬式テニス教室をかわりに、夏は7月3日(水)・6日(土)に佐々木

「くらしの中の科学」
公開講座の挨拶

「くらしと家庭電化」
石川太郎前教授

「くらしとあかり」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中の科学」
公開講座の挨拶

「くらしと家庭電化」
石川太郎前教授

「くらしとあかり」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしとあかり」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授



懇談会では、後援会及び大学代表者からの挨拶に続いて、教務関係学生生活・就職指導状況等について、大学役職者が

梅雨の合間となった六月十六日に、大学図書館四階の大会議室で後援会の本年度の総会が開催されました。その席上において、佐佐木会長の後任を仰せつかった次第であります。力不十分とは思いますが、会員の皆様方、大学の先生、職員の方々のご支援ご協力を

今年も第9回大同工業大学公開講座が開催されました。昨年も好評だった硬式テニス教室をかわりに、夏は7月3日(水)・6日(土)に佐々木

「くらしの中の科学」
公開講座の挨拶

「くらしと家庭電化」
石川太郎前教授

「くらしとあかり」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしと家庭電化」
石川太郎前教授

「くらしとあかり」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしとあかり」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

電子情報通信学会東海支部 第2回 学生向講演会
本学にて開催

電子情報通信学会東海支部の援助を得て本学で講演が行なわれました。

東京大学生産技術研究所の生駒俊明教授に「アノソココピック」と題して、LSI(大規模集積回路技術)の進展に伴い半導体デバイス(波動性と粒子性)がはつきりと観測される現象や、原子をひとつひとつ積み上げて素子を作り上げる話など興味深く聞くことができました。全学の学生・教職員を対象とされたが、主として電気工学科・応用電子工学科の三・四年生、修士課程の学生および両学科の教職員合計一五〇名ほどがこの講演を聴講した。

日本機械学会 第3回ロボティクス・メカトロニクス講演会
学生アイディアコンテスト入賞

第3回全国大会のコンテストテーマ「めぐる」に名大・信州大・九州工大等全国から12件の応募があり、本学の機

「めぐる」
高橋宗宏

「めぐる」
高橋宗宏

「めぐる」
高橋宗宏

「めぐる」
高橋宗宏

「めぐる」
高橋宗宏

「めぐる」
高橋宗宏

「めぐる」
高橋宗宏

「めぐる」
高橋宗宏

「めぐる」
高橋宗宏

「めぐる」
高橋宗宏

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

「くらしの中のファジー」
若林嘉一郎前教授

人事関係

役職者



教授 高原定郎 助教授 小野宗憲 教授 加藤哲男 教授 松浦清剛 教授 山寺秀雄 教授 齋藤辰彦 教授 若林嘉一郎 教授 清家政一郎 教授 黒瀬幸正 教授 前田利男 教授 藤原達雄



大学院建設工学専攻主任 教授 成田壽一郎 大学院電気電子工学専攻主任 教授 稲垣米一 大学院機械工学専攻主任 教授 加藤容三 大学院教務委員長 教授 戸澤康壽 一般教養主任 教授 松原敏浩 応用電子工学科主任 教授 宇野正美 建設工学科主任 教授 事口壽男 電気工学科主任 教授 奥田孝美

交替

平成三・四(付)
◎大学院電気電子工学専攻主任
稲垣米一教授(松原正教授)
(平成三・三・一六付)

◎教務部長
清家政一郎教授(戸澤康壽教授)
◎大学院機械工学専攻主任
加藤容三教授(清家政一郎教授)

◎機械工学科主任
高原定郎教授(加藤容三教授)
◎電気工学科主任
奥田孝美教授(松浦清剛教授)

◎一般教養主任
松原敏浩教授(山寺秀雄教授)

受章おめでとうございます
藤原達雄理事長 学長
平成三年十一月三日
勲三等瑞宝章受章
高遠現象計測処理システム

平成3年度 国庫など 補助金の交付状況



平成3年度の国庫等補助金の交付状況(11月30日現在)をお知らせします。
科学研究費では7件が採択されました。その内容は、「特別研究員奨励費」として中村教授の「ヒトポンプへの応用を目的とした凍結を伴う水冷式蒸発器の研究」の一件、「重点領域研究」として、美濃教授の「メソスコピック粒子の高密度保持とその電子物性の解析」の一件、総合電子(A)として、美濃教授の「超高压電子顕微鏡の基礎技術の向上とその応用の新領域の開拓」の一件、そして、一般研究(C)として、山寺教授の「金属錯体の配位構造の研究」、事口教授の「変動力下における海洋ケールの電気化学的手法による腐食疲労強度に関する研究」、太田助教授

平成3年度国庫等補助金交付状況

Table with 3 columns: 補助金名, 件数, 補助金交付金額. Rows include 科学研究費補助金 (特別研究員奨励費, 重点領域研究, etc.), 私立大学研究設備整備費等補助金 (特別設備, etc.), and 愛知県経常費補助金.

掲示板

大学から学生へ
◎冬の学生行事
12月7日(日) バリスタス
1月5日(日) 10日(金) スキースクール
冬は学生生活を有意義に過ごすためにも奮って参加して下さい。

学生課

◎平成4年度 アメリカヨーロッパ 短期留学実施について
本年度は、昨今の世界状況に鑑み、中止された短期留学ですが、来年度から再開されることになりました。
募集要項 定員・34名
申込期間・4月中旬
受付・学生課、学生会
海外での学生生活を満喫できるよう企画して、しますので皆さん奮って参加して下さい。
Let's enjoy your summer vacation in the foreign country!

教務課

◎後期授業等日程
12月14日(日) 休講日 特別奨学生入学試験日のため
12月21日(日) 26日(金) 冬季補講期間
12月21日(日) 1月10日(金) 冬季休業期間
2月5日(水) 18日(水) 後期試験期間
2月27日(水) 28日(金) 後期追特追 再試験受付期間
3月2日(月) 7日(日) 後期追 特追 再試験開始
3月25日(水) 学位授与式
◎転学科(転専攻)
当該学科より他学科に転学科を希望する者は、審査の結果により許可されます。
2月24日(月) 3月12日(水) 申込み期間

交通事故・迷惑駐車

最近、自動車通学して大学周辺の公道に不法駐車及び迷惑駐車をする学生が増えています。これは地域のみなちに迷惑をかけるだけでなく、交通安全の原因にもなりますので、迷惑・不法駐車はやめましょう。
また学生の交通事故も増えています。この8月、10月には本学の学生2名の尊い命が失われています。ご父母の皆様へも学生の交通安全防止について、奮起いたしました。が、車に乗らないことが交通安全防止にもつながります。
本学は交通手段の場所にありますので、交通事故防止のためにも自動車通学の自粛について考えてみて下さい。

木崎セニテハウス
冬利用について
利用人員・25名(1日)
休業日・12月29日(月) 1月3日(金)
利用上の注意を守って申し込んで下さい。

図書館

◎開館時間延長試行 結果報告
平成3年6月に実施した2回/週・月・木曜にしました標記試行につきまして、予想以上の利用が有りました(左表参照)
◎開館時間延長試行 結果報告
平成3年6月に実施した2回/週・月・木曜にしました標記試行につきまして、予想以上の利用が有りました(左表参照)

Table with 2 columns: 通常開館時間帯 (9:00-17:30), 延長開館時間帯 (17:30-19:00). Rows: 利用者数(人), 1日平均利用者数(人), 1時間平均利用者数(人).

今年度の利用状況を、今回の試行結果をもとに、図書委員会において審議の結果、再度試行することになりました。この2回の試行結果をもとに、今後の方針を決定する予定となっています。
◎AV(視聴覚)資料 受入状況報告
2月24日(月) 3月12日(水) 申込み期間

◎転学科(転専攻)
当該学科より他学科に転学科を希望する者は、審査の結果により許可されます。
2月24日(月) 3月12日(水) 申込み期間

◎AV(視聴覚)資料 受入状況報告
2月24日(月) 3月12日(水) 申込み期間

情報処理センター
「コンピュータによるキーボードトレーニングソフト」の紹介(1)
TYPEQUICK J6 (日本能率コンサルタント製)は、効果的に配列された10個のレッスンを順番に計画的に進めることができます。また、全レッスンを通じて学習者のタイプ能力を1文字ごとにチ

今年に引き続き今年度も資料の充実に向け、総数三三三種、VTR63種、10月9日現在)が受入されました。
主なものは
・LDレコーダ(ディスク)
・地球大紀行
NHK銀河宇宙オデッセイ
ローマの休日
ティファニーで朝食を
CDコンバクトディスク)
Big Classics 100
サイモンとガーファンクル
マドンナ
井上陽水
VTRビデオテープ)
ビデオわかるMS-DOS
ビデオ版地球の歩き方
ビデオでエンタメスクエアクラシック
P1 Grand Prix '90

編集後記

わが国の経済社会における国際化の進展にともない、国際交流はますます活発化し、日本に対する諸外国の期待は著しいものがあります。
このような状況の下、今号は一面において、本学の提携校であるドイツのアールヘン工科大学よりハベタ学長等が訪問され、講演会等本学との交流内容の紹介を、また二面においては、日本への留学熱がアジアを中心に年々増加の傾向をたどっていますが、本学にも現在、留学生の方々が在籍していますので、その方々に集まっていただいて「留学生との座談会」を組んでみました。

就職指導課

三年次生へ
来年四月には、就職先を考へなければならぬので、自

四年次生へ

多くの諸君は就職先も決定し気分が軽やかですが、来年三月には無事卒業できるよう残り少ない学生生活を有意義に過ごして下さい。
まだ未決定の方は、再度、挑戦して、一日も早く決定できるよう努力して下さい。
就職先が決定して、「就職進路路」の未提出の学生は至急提出して下さい。

第二回就職説明会

平成3年12月中旬
第一回就職適性検査
平成4年2月下旬
第二回就職説明会
平成4年4月中旬
第一回就職適性検査
平成4年4月上旬
第三回就職説明会
平成4年5月上旬